

# 令和 6 年度 川本小学校 校内研究について

## 1 研究主題

能動的・協働的に学ぶ子どもの育成

～ 能動性・協働性を育むための授業の工夫やファシリテーションを通して～

・能動的とは・・・あきらめず、やり遂げようとする。

自ら学び探求し続ける。

・協働的とは・・・友達から学んだことをもとに、自分の考えが広がる、深まる。

かかわりを通して学びを深める。

## 2 研究仮説

(1) 子どもたちが考えてみたくなるような授業の工夫があれば、能動的に学び続け、学びを深める子どもが育つであろう。

(2) 子ども同士の学びをつないでいく教師のファシリテーション力を向上させれば、学びを深め、能動性を養うことができるであろう。

## 3 具体仮説例

(研究仮説 1 にかかわって)

(1) 児童の実態に合った教材、単元構成、課題設定や発問の工夫をする。

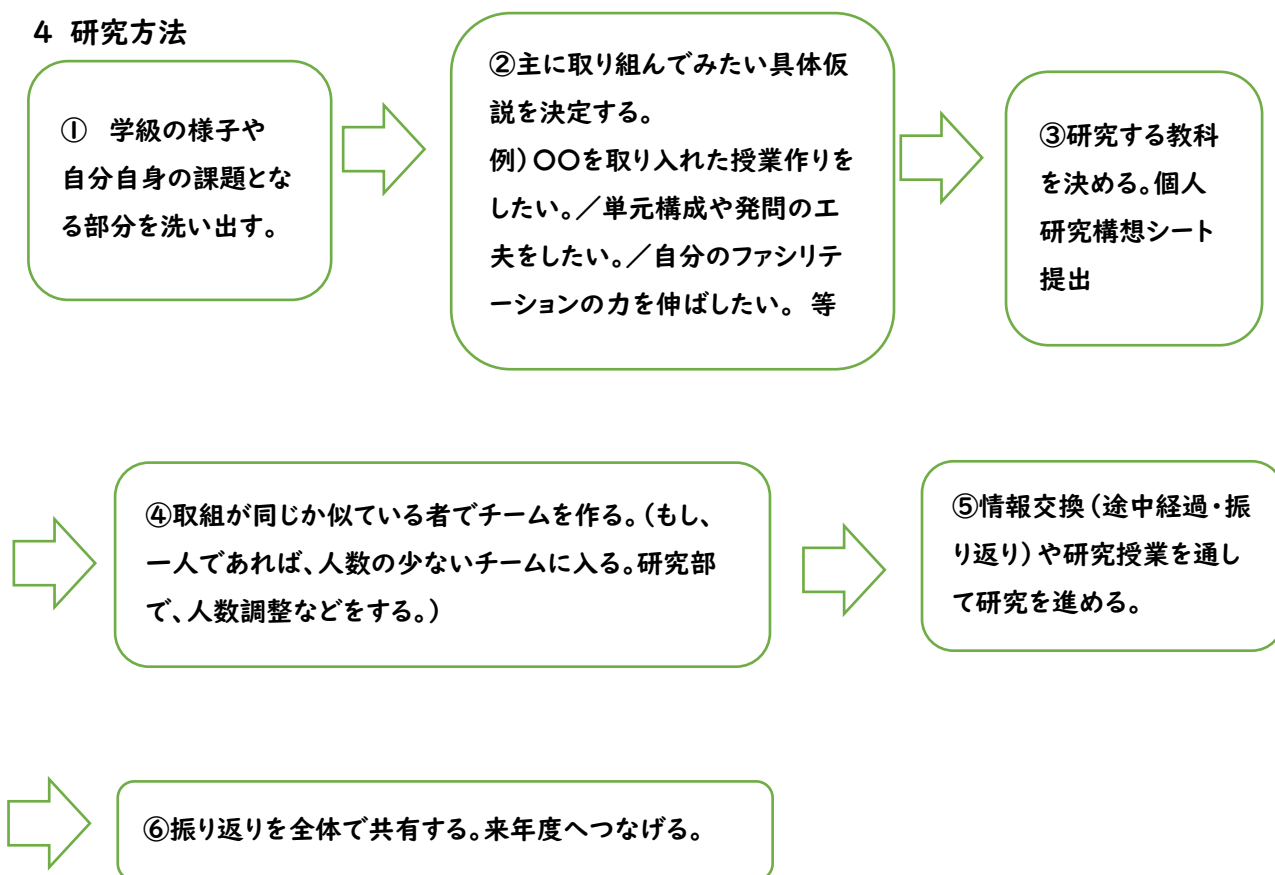
(2) 必然性のある場面において、教育 DX、ペア・グループ・全体学習など、学習方法・学習形態の工夫をする。

(研究仮説 2 にかかわって)

(1) 教師が子どもの表現に対し「聴く」「話す」「つなぐ」「もどす」という適切なファシリテーションをしていく。(令和 6 年度 川本町教委「共に学び合う授業をめざして」より)

(2) 教科における「見方・考え方」「学び方」を働かせる、伸ばすための指導を充実していく。

#### 4 研究方法



#### 5 検証方法

(1) 児童の意識アンケート(5月・1月)をとり、変容を見取る。

5, 6年生は、学力調査の質問紙も参考になる。

	質 問	自己評価
1	(低学年)あなたは、じゅぎょうのめあてにおかたて、あきらめずにとりこんでいますか。 (中・高学年)あなたは、授業の課題に対して、あきらめずやりとげようとしていますか。	◎○△
2	(低学年)あなたは、じぶんからすすんでかんがえていますか。 (中・高学年)あなたは、自分から進んで考えたり調べたりして(色々な調べ方で)、学びをもっと深めようとしていますか。	◎○△
3	(低学年)あなたは、ともだちのかんがえをきいて、じぶんのかんがえがふえていますか。 (中・高学年)あなたは、友達から学んだことをもとに、自分の考えが広がったり深まったりしていますか。	◎○△
4	(低学年)あなたは、ともだちとはなしあったり、きょうりよくしてべんきょうをしたりすることで、べんきょうがすこしでもわかりましたか。 (中・高学年)あなたは、友達と話し合ったり協力して学習活動したりすることで、学びが深まっていますか。	◎○△

\*その他、検証のために、個人で設定してもよい。

(2) テストの平均点の変化をみる。(テストをする教科の場合)  
(研究に取り組んでいる教科や観点をしぼって変化を見る。)

(3) 能動的な学びの姿、学びの深まりはどうかについて、1年間の変容を見取る。  
それと同時に、効果的だった取組を記録する。  
(項目を立てても、自由記述でもよい。)

6 研究の基盤としての学級経営(学校全体で大事にしたいこと)  
(町教委より)

(1) 聴きあう関係作り どんな考えも馬鹿にしない。(笑わない。)

(2) 分からない時、「教えて」と助けを求めることができる雰囲気作り。

助けを求められたら相手が納得するまで丁寧に教える学習集団作り。